

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 登録実用新案公報 (U)

(11)実用新案登録番号

第3007547号

(45)発行日 平成7年(1995)2月21日

(24)登録日 平成6年(1994)11月24日

(51) Int.Cl.⁶

A 6 1 F 13/72

A 4 1 B 9/04

9/12

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

D 2119-3B

E 2119-3B

A 6 1 F 13/ 16

3 0 0 A

評価書の請求 有 請求項の数1 巻面 (全4頁)

(21)出願番号

実願平6-11217

(22)出願日

平成6年(1994)8月5日

(73)実用新案権者 394018568

▲高▼瀬 かおる

川口市上青木西5丁目17番23号

(72)考案者 ▲高▼瀬 かおる

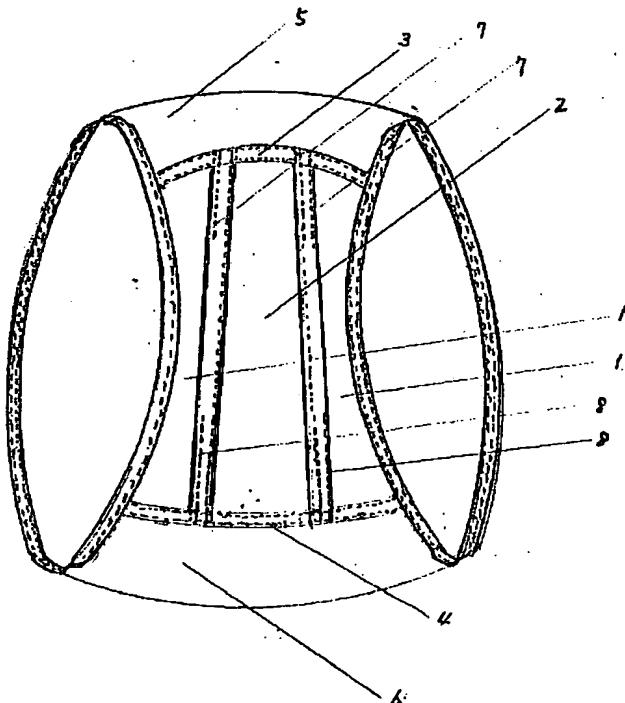
川口市上青木西5丁目17番23号

(54)【考案の名称】 生理用ショーツ

(57)【要約】

【目的】 ショーツに生理用パッドを固着したとき、パッドの耳の部分が肌に触れなく違和感が生じないこととパッドの耳の部分が見えないスマートな外観を得る。

【構成】 ショーツの股当布に、生理用パッドの耳の部分を固着する保持布を重ね、前部と後部の一部分を縫つてなる。生理用パッドの耳の部分を保持布の裏側に固定させるため、股当布と保持布との間があくよう形成する。



1

2

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項 1】 ショーツの股当布（1）に生理用パッド（10）をショーツの内部に係止できる保持布（2）を有する生理用ショーツ。

【図面の簡単な説明】

【図 1】 ショーツの内側の股当布に保持布を付したショーツの斜視図である。

【図 2】 ショーツの内側の保持布に生理用パッドを固着した斜視図である。

【符号の説明】

* 10

* 1 股当布

2 保持布

3 股当前部

4 股後部

5 ショーツの前部

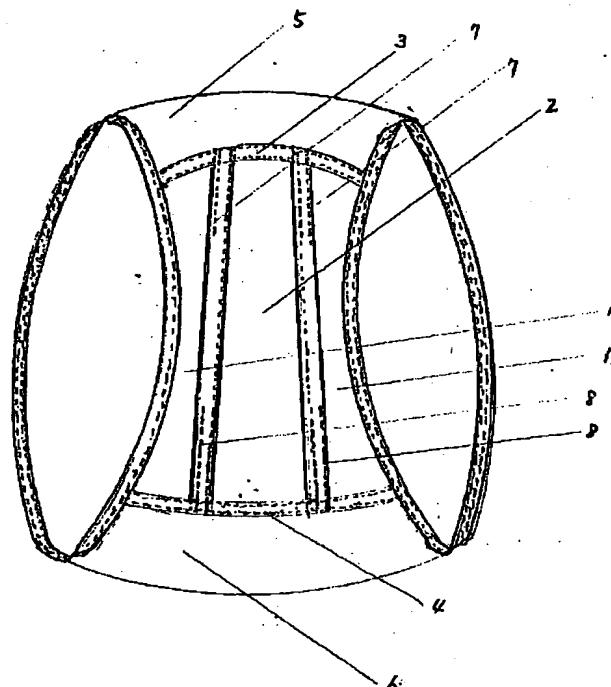
6 ショーツの後部

7, 8 股当布と保持布との縫い目

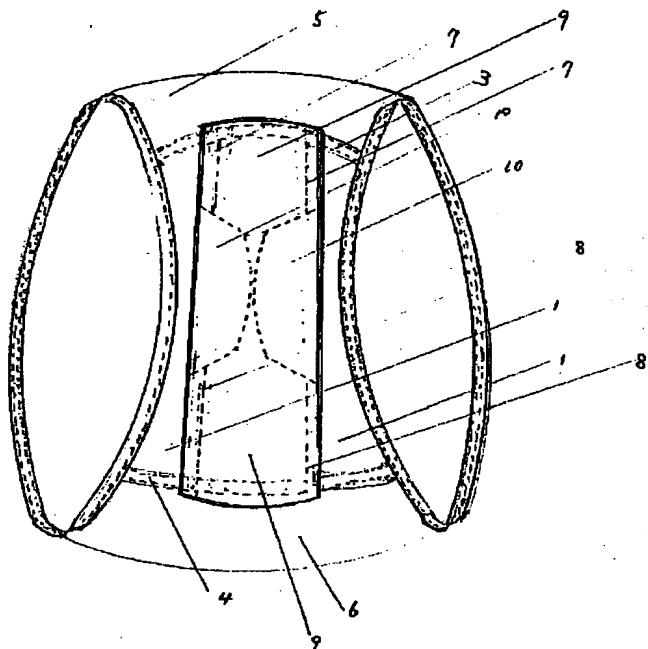
9 生理用パッド

10, パッドの耳の部分

【図 1】



【図 2】



【考案の詳細な説明】**【0001】****【産業上の利用分野】**

本考案は、生理用パッドを固着するショーツに関するものである。

【0002】**【従来の技術】**

従来、生理用パッドを固着するときは、生理用パッドの耳の部分をショーツの外側に係止するので、内股に当たり、馴れるまでは不快感があり、また、女生徒が体育のとき耳の部分が見えることもある。

【0003】**【考案が解決しようとする課題】**

本考案は、従来の技術の有する問題点に鑑みなされたものであり、その目的とするところは、生理用パッドの耳の部分をショーツの内側に係止できるショーツを提供しようとするものである。

【0004】**【課題を解決するための手段】**

上記目的を達成するために、本考案のショーツは、ショーツの股当布（1）の部分に防水加工を施した保持布（2）を重ねる。

【0005】

保持布は、股当布の前部と後部の部分に縫い付け、保持布両側は、前部部分と後部部分の一部を股当布に縫い付け、中間部分は、生理用パッドの耳の部分が、股当布と保持布の間にに入るよう形成する。

【0006】

保持布の両側には、平ゴムひもを内蔵している。

【0007】**【作用】**

上記のように構成されているショーツは、生理用パッドの本体は保持布の表面に係止する。耳の部分は保持布の裏面に係止する。生理用パッドをそれぞれで係止し、パッドの移動を防止する。

【0008】

【実施例】

実施例について図面を参照して説明する。図1については、ショーツの内側にある股当布（1）に保持布（2）を重ね、股当布の前部（3）の後部（4）の部分に縫い付ける。

【0009】

また、保持布の両側の前部と後部の一部分を股当布（1）の前部分と後部分をそれぞれ縫い付け、保持布（2）の中程は、股当布（1）との間はあける。

【0010】

また、保持布（2）の両側には、平ゴムひもを縫い込む。

【0011】

それから保持布（2）は股当布（1）より細めに形成する。生理用パッドと同じような形に形成してもよい。

【0012】

図2においては、生理用パッドの耳の部分（10）が保持布（2）の裏側に固着できるよう形成する。

【0013】

【考案の効果】

本考案は以上説明したように構成されているので、次に記載される効果を奏する。

【0014】

ショーツの股当布に重ねて、保持布を設けることによって、生理用パッドの耳の部分がショーツの内側になり外観上もスマートとなる。

【0015】

ショーツの内側の保持布の裏側に生理用パッドの耳の部分が固着でき肌に触れることがないので違和感がなく快適である。

【0016】

女生徒が体育のとき、生理用パッドの耳の部分が見える心配がなく、安心して体操ができる。